

一一〇六番

かはづ鳴く 清き川原を 今日見ては いつか越え
え来て 見つつ偲はむ

一一〇七番

泊瀬川 白木綿花に 落ち激つ 瀬をさやけみと
見に来し我を

一一〇八番

泊瀬川 流るる水脈の 瀬を速み めで越す波の
音の清けく

一一〇九番

さ檜隈 檜隈川の 瀬を速み 君が手取らば 言
寄せむかも